

ラジオ，ヒーター，エア・コンディショナーの使い方

ラジオ，ステレオの使い方	48
アンテナ	48
ラジオ	48
ヒーター，エア・コンディショナーの使い方	51
吹き出し口	51
ヒーター	52
エア・コンディショナー	54
オート・エア・コンディショナー	56



ラジオ、 ステレオの 使い方

■ アンテナ

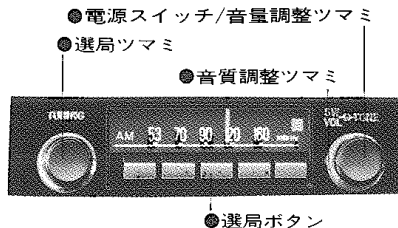
リヤ・ウィンドウ・ガラスにうめ込んであります。

アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

■ ラジオ *

エンジン・スイッチが、ONまたはACCの位置のときに電源スイッチ（SW）を押すと電源がはいります。

AMラジオ



〈選局ボタンのセット〉

1. 選局ボタンの1つを、いっぱい引き出します。
2. 選局ツマミ（TUNING）で、選局指針を希望の局に合わせます。
3. 引き出した選局ボタンを、いっばいに押し込みます。あとは選局指針がどこにあっても、このボタンを押せばセットした局が受信できます。他のボタンも、同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

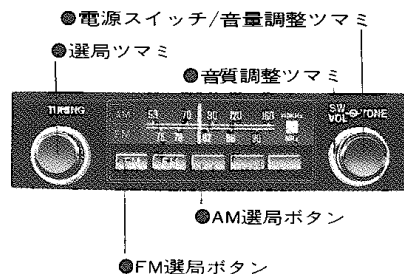
〈音量調整〉

音量調整ツマミ（VOL）を左右に回し、適当な音量に調整します。

〈音質調整〉

音質調整ツマミ（TONE）を左右に回します。

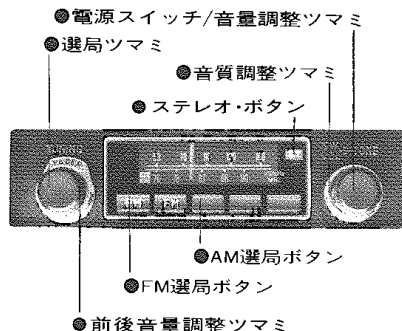
AM/FMラジオ



〈選局ボタンのセット〉

右側3つのボタンでAM3局
左側2つの **FM** ボタンでFM2局
がセットできます。
他はAMラジオと同じです。

AM/FMマルチ・ラジオ



1. **ST** ボタンを押すと、ステレオ表示灯が点灯してFMステレオ放送を聞くことができます。
2. **ST** ボタンを、もう一度押すとFMモノラルになります。

〈前後音量調整〉

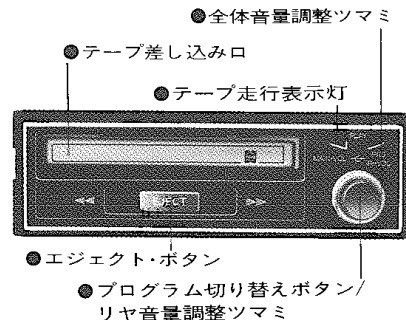
前後音量調整ツマミ(FADER)を、右に回すとフロント・スピーカーの音量が増し、左に回すとリヤ・スピーカー(2個)の音量が増します。

〈FMステレオを上手に聞くには〉

ステレオで聞いているとき、ビル、山の陰、電波の弱いところでは、シャー

シャーと雑音がいり、ステレオ表示灯が点滅することがあります。この場合は、故障ではありません。次のように操作すると聞きやすくなります。

- 選局ツマミを雑音の一番少ないところへ合わせなおす。
- 音質調整ツマミを左へ回し低音にする。
- **ST** ボタンをもう一度押しモノラルにする。

AMラジオ付きカセット・ステレオ
AM/FMラジオ付きカセット・ステレオ

〈演奏開始〉

カセット・テープを差し込み口に、ロックされるまでまっすぐ差し込んでください。テープ走行表示灯が点灯し、演奏が始まります。このときラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく自動的に演奏が始まります。

〈音量、音質調整〉

1. 音量調整は、ラジオの音量調整ツマミを右いっぱい回し、カセット・ステレオのリヤ音量調整ツマミを右いっぱい回します。

2. カセット・ステレオの全体音量調整ツマミ (MAIN・VOL) で全体の音量を調整します。フロント・スピーカーの音量が大きいときはラジオの音量調整ツマミで、リヤ・スピーカーの音量が大きい場合はカセット・ステレオのリヤ音量調整ツマミを左に回して小さくして、前後のスピーカーの音量を調整してください。
3. 全体スピーカーの音質は、ラジオの音質調整ツマミで調整してください。

〈プログラム切り替え〉

プログラム切り替えボタン (PRO) を押すと、テープ走行表示灯が切り替わり、テープ走行方向の切り替えができ、お好みのプログラムが選べます。

〈オート・リバーズ〉

テープ演奏が終わると自動的にプログラムが切り替わります。

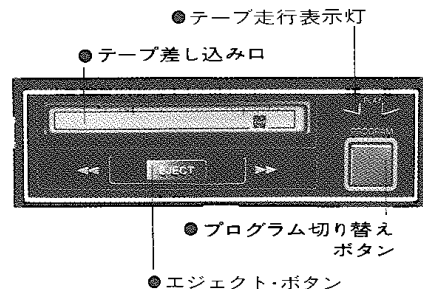
〈早送り、巻きもどし〉

1. テープ走行表示灯の点灯している方向と同じ方向に **EJECT** ボタンを斜めに押すと早送り、逆方向に **EJECT** ボタンを斜めに押すとテープの巻きもどしができます。
2. 解除する場合は、**EJECT** ボタンをもとにもどしてください。

〈演奏停止〉

演奏を停止させテープを取り出したいときは **EJECT** ボタンを強く押し込んでください。
カセット・テープが差し込み口に押し出され同時にテープ・プレーヤーの電源もOFFになります。

AM/FMマルチ・ラジオ付きカセット・ステレオ



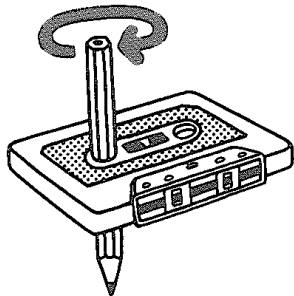
AM/FMラジオ付きカセット・ステレオと同じ取り扱いですが、スピーカーの音量、音質の調整はラジオで行ないません。

★C-120テープ、クローム・テープは使用しないでください。テープが巻きついたり、ヘッドの摩耗を早めます。

★演奏している状態で、エンジン・キーを切らないでください。回転むらや、テープの巻き込みの原因になります。

★テープはケースに入れ、直射日光やほこりをさけて保存してください。

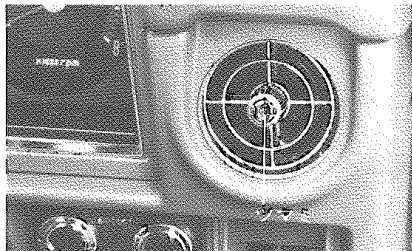
★テープは、鉛筆などで軽く外側に回して、たるみを取ってからそう入してください。



ヒーター、 エア・コンディ ショナーの 使い方

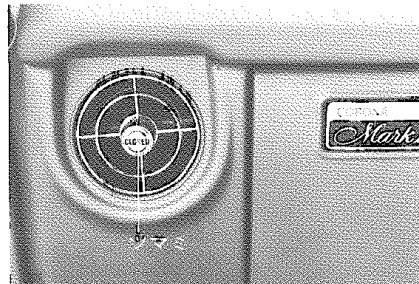
■吹き出し口

▶ 右側



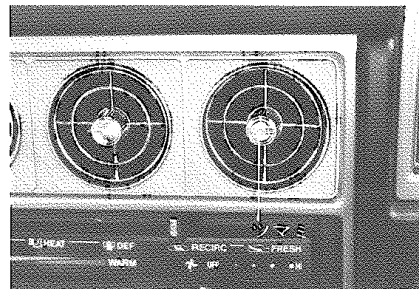
ヒーターを操作することにより、換気装置およびドア・ガラスの曇り止めとして使用します。風向きは自由に調節できます。吹き出し口をとじるときはツマミを右に回してください。

▶ 左側



取り扱いは右側吹き出し口と同じです。

▶ 中央



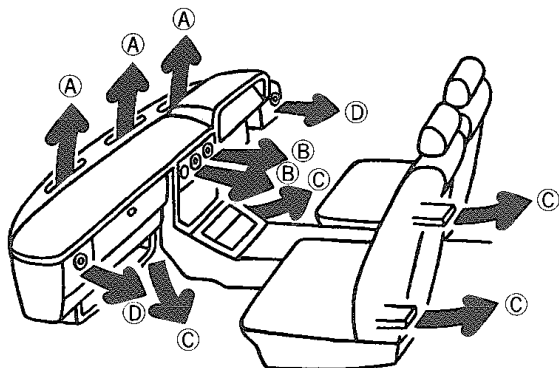
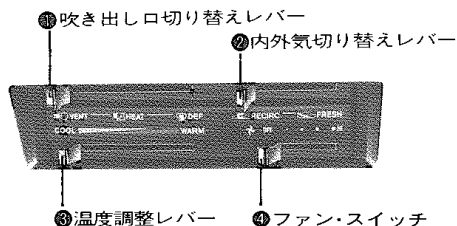
風向きは自由に調節できます。右側中央吹き出し口はツマミを右に回せば、とじることができます。

■ヒーター

GRANDE車を除く

冷風（外気）と温風を混合して、お好みの温風をえられるフル・エア・ミックス方式です。

左右吹き出し口は、ドア・ガラスの曇り取りとしても使用できます。



① 吹き出し口切り替えレバー

（各吹き出し口の風量の割合を無段階に調整することができます。）

換気………上半身、顔面に風を送り（VENT）ます。

吹き出し口→②、④

暖房………室内暖房（最大暖房）（HEAT）

吹き出し口→③④および、
①から少々

曇り取り…フロント・ガラスおよび（DEF）
サイド・ガラスの曇りを
取ります。

吹き出し口→①④および、
③から少々

② 内外気切り替えレバー

内気循環…内気循環式、急速に車内（RECIRC）を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。

外気導入…外気導入式に切り替わります。（FRESH）

③ 温度調整レバー

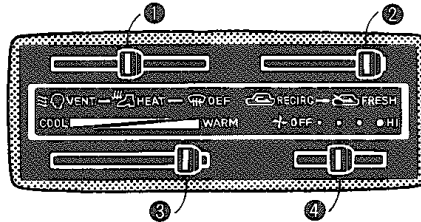
COOLからWARMまで無段階に温度を調整できます。

④ ファン・スイッチ

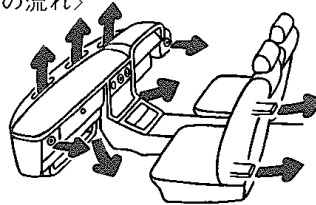
風量を、4段階に調整できます。

▶ 室内暖房

〈レバーのセット位置〉



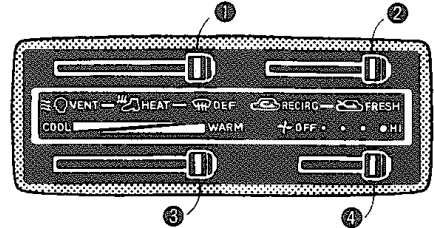
〈温風の流れ〉



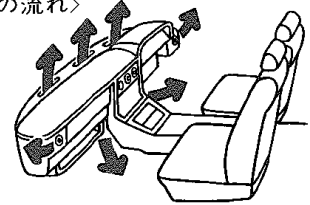
1. 換気をよくするため②のレバーは必ずFRESHにしてください。
2. 顔が少し熱く感じられた場合は③のレバーを左に動かしてください。曇り止め側からの温度が下がり快適な頭寒足熱暖房になります。
3. ④のスイッチは一段目からHIの間で調整してください。

▶ フロント・ガラス、ドア・ガラスの曇りを取るとき

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉

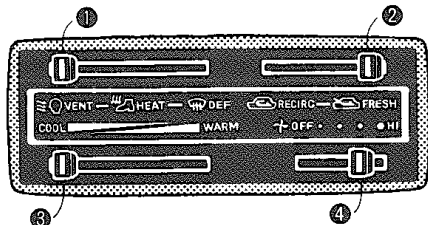


1. 左右吹き出し口をあけてドア側に向けると、ドア・ガラスの曇りが取れます。
2. ①のレバーをDEFとHEATの間にすれば、同時に足元も暖められます。
3. 曇りが取れたらHEAT側にしてください。
4. ④のスイッチは一段目からHIの間で調整してください。

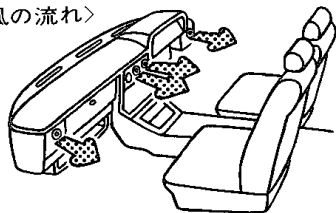
▶ 早く換気したいとき

(強制換気)

〈レバーのセット位置〉



〈風の流れ〉

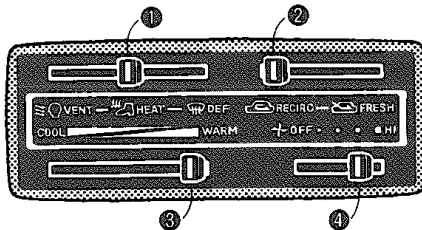


外のさわやかな風が中央吹き出し口および左右吹き出し口から吹き出します。

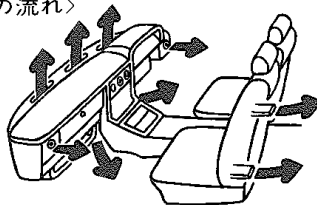
④のスイッチは一段目からHIの間で調整してください。

▶ 急速暖房

〈レバーのセット位置〉



〈温風の流れ〉

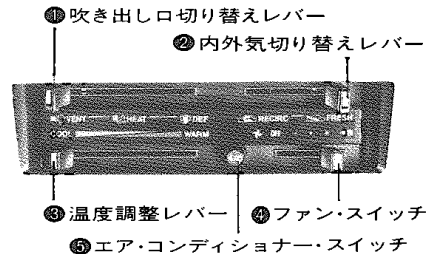


1. 早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的にRECIRCを使用します。
2. 通常はFRESHの位置にしてください。



②のレバーがRECIRCのとき①のレバーをDEFにしないでください。ガラスが曇り危険です。

■ エア・コンディショナー *



ヒーターにクーラーを組み付け、暖房、冷房はもちろん、湿気も取り去るオール・シーズン・タイプです。

1. 暖房操作は、ヒーターの項目を参照してください。
2. 暖房時に⑤のスイッチを押せば、除湿暖房ができます。

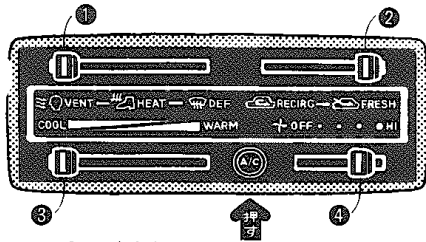
この項目では冷房、除湿の操作について説明します。

★エア・コンディショナーをクーラーとして使用するときは、ドア・ガラスをしめてください。

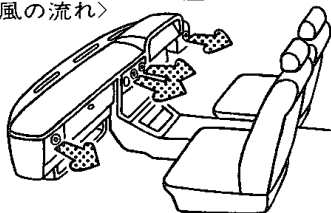
★エア・コンディショナー使用中はアイドル回転がふだんより少し高めになります。

▶通常冷房

〈レバーのセット位置〉



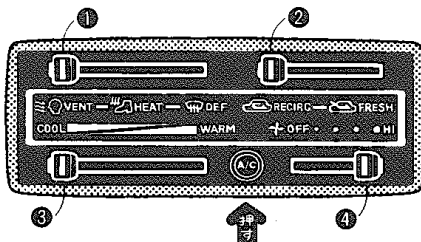
〈冷風の流れ〉



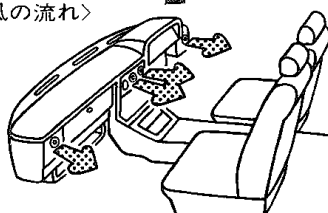
1. 室内の換気をし、湿気を取り快適な冷房をします。通常走行中は、この位置で使用してください。
2. ③のレバーをCOOLからWARMの間で調節し、快適な温度にしてください。
3. ④のスイッチは一段目からHIの間で調整してください。

▶最大冷房

〈レバーのセット位置〉



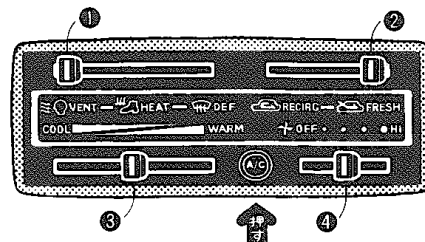
〈冷風の流れ〉



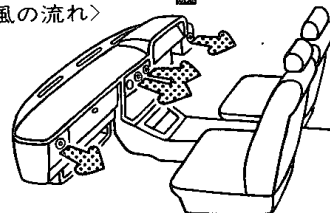
1. 直射日光にさらされ室温が非常に高いとき早く室温を下げるには、全ドア・ガラスをあけて換気した後冷房してください。
2. なお、この位置で長時間使用する場合は、換気のためときどき②のレバーをFRESHにしてください。

▶除湿

〈レバーのセット位置〉



〈冷風の流れ〉

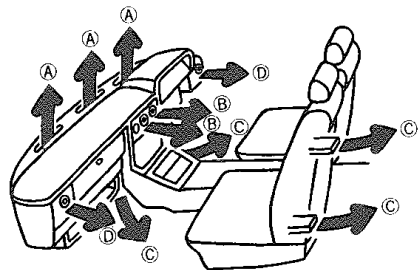
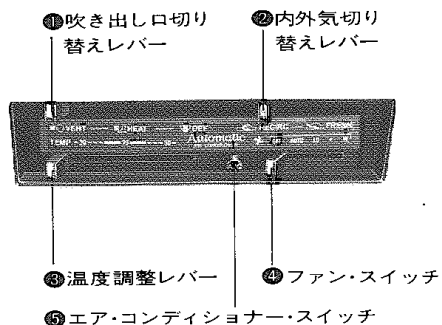


- 雨天時など曇りやすいとき、室内の湿気を取り除きます。
- ③のレバーはCOOLからWARMの間で調整します。

■ オート・エア・コンディショナー

GRANDE車のみ

温度調整レバーを一度セットすれば、室内を常に快適な温度に自動コントロールできます。



操作方法

- ⑤のスイッチをONにします。
- ②のレバーを**FRESH**にします。通常はこの位置でご使用ください。急速暖房あるいは急速冷房したいときは、**RECIRC**を使用してください。
- ③のレバーをお好みの温度に合わせます。平均室温が希望温度になるように自動的に作動します。
- ④のスイッチをセットします。
OFF……送風停止
AUTO……風量が自動的にHIからLOに調節され、希望温度に保たれます。
LO・HI……風量が、手動で3段階に調整できます。ただし、この場合室温は温度レバーの目盛りに対し多少ずれることがあります。

- ④のレバーを切り替えます。
換気……強制換気クーラーとして**(VENT)**で使用する
とき
〈吹き出し口—**(B)**, **(D)**〉
暖房……ヒーターとして使用する
(HEAT) とき
〈吹き出し口—**(C)**, **(D)**および、**(A)**から少し〉
曇り取り…窓ガラスの曇りを取る
(DEF) とき
〈吹き出し口—**(A)**, **(D)**および、**(C)**から少し〉
冬期に、エア・コンディショナーをヒーターとして使用する場合は、⑤のスイッチをOFFにしてください。
除湿が必要な場合はONにしてください。